

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年3月9日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年3月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体廃棄物焼却設備の冷温水ポンプ(A)電動機の基礎ボルト腐食およびカップリングボルトのゴム製緩衝材亀裂について】 協力企業作業員が、雑固体廃棄物焼却設備の冷温水ポンプ(A)電動機点検において、基礎へ固定するボルトの腐食およびポンプとのカップリングボルトのゴム製緩衝材の亀裂を確認。 今後、電動機点検中に当該ボルトおよびカップリングボルトのゴム製緩衝材を交換予定。	GⅢ	3月1日
2	【2号機タービン建屋空調機用空気冷却器の冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、東日本大震災以降使用していない2号機タービン建屋空調設備の冷却器7A、7B、8Bの冷媒回収作業を行ったところ、充填した量の冷媒が回収出来なかったことから冷媒が漏えいしていたことを確認。 原因は、1号機の水素爆発により飛散したガレキによって、当該冷却器が損傷し漏えいしたものと推定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告予定。	GⅢ	3月3日
3	【6号機非常用ディーゼル発電機(B)排気弁の弁座シート部の曲がり許容値の超過について】 協力企業作業員が、6号機非常用ディーゼル発電機(B)排気弁点検において、弁と弁座部分のシート部計測を行った際、許容値を超えていることを確認。 今後、当該弁座を交換予定。 なお、排気弁の点検中に交換を実施すること、6号機非常用ディーゼル発電機(A)の運転は可能であることから、非常用電源確保に問題はない。	GⅢ	3月6日